

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	「文武両道」と「組織で勝つ」をスローガンとし、人権尊重を柱とした教育実践と東京都教育委員会スーパーアクティブスクールとして活力ある生徒を育成する学校
○児童・生徒像	「磨く」、「挑む」、「思いやる」の生徒行動指針の下、自分のよさや特性を理解し、新たに定めた目標を実現しようと努力する、自他の違いを認めそれを尊重する心をもった生徒
○教師像	仕事への責任感と使命感あふれる気持ちを持ち、組織を大切にし、組織で職務に当たり、一人一人の生徒に寄り添い、「やさしく、厳しく」指導できる教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 1 学校の現状

生活指導の徹底が基盤となり、けじめと明るさが両立した学校生活である。生徒行動指針「磨く」「挑む」「思いやる」が生徒・保護者・地域社会に浸透し、学習活動や学校行事に熱心に取り組む姿勢が見られる。

#### (1) 生徒について

目的意識をもち、明朗快活な生徒が多い。しかし一部に、人間関係づくりができないなど学校生活に馴染むことができずに不登校となる生徒や教育相談を受ける生徒もいる。

#### (2) 教職員について

公務員としての職務を理解し、強い使命感をもって、熱心に生徒指導や部活動指導に当たる教職員が多くいる。しかし、ここ数年で若手教員が増加し、年齢のアンバランスがある。

#### (3) 保護者・地域社会について

多くの保護者は、本校の教育活動を理解し連携した指導を行っている。しかし一部に教育力の低い家庭があり、生徒の基本的な生活習慣が確立できていないなどの課題もみられる。

地域は、開かれた学校づくり協議会が中心となり、教育の向上を図っている。特に、PTAはもとより足立九中後援会や「おやじ・おふくろの会」は、教育活動推進で物心両面の支えとなっている。

### 2 成果と課題

#### (1) 成果

学習面については、自主的に早朝から学習する生徒や、昼休みなどに生徒同士で教え合う取り組みを行うなど、生徒の主体的に学ぶ態度が少しずつ養われた。区学力調査では学校全体の通過率が64.9%と過去最高になった。

豊かな心の育成については、学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な運営、ボランティア活動の推進等により、部活動や行事に頑張れた生徒が90%を超えるなど自己肯定感が高まった。

体力や活力については、挨拶や礼儀・マナー等の節度ある生活の推進、スポーツメンタルトレーニング講座、食育の充実、全生徒参加型の部活動の充実などを通して、生徒に自主的・自律的な態度を育成した。

小中連携については、喫緊の課題をもとに3つの部会を組織し、小中の合同研究で研究に取り組み、中間まとめを行うなど小中一貫教育の視点に立った指導を一層推進することができた。

#### (2) 課題

ア 学力調査の分析と改善策の検討、主体的・対話的で深い学びの創造、OJTの充実による教員の授業力向上、各種学習コンテスト、家庭との連携強化などで主体的に学ぶ態度の育成を行っていく。

イ 行事等における自主的な運営の充実、社会貢献活動の推進、スマートフォン等の使用の自己抑制など、思いやりの心や自律の態度を養い、生徒の自尊感情や自己肯定感を一層高めていくことが課題である。

ウ 東京都教育委員会スーパーアクティブスクールとして、活力ある生徒の育成や体力向上に関する研究成果をまとめ、発表会を開催するなど、東京都全体に普及・啓発することが課題である。

#### 4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		28	29	30	31	32
1	学力向上：生徒の学力を伸ばす。	○	○	○	○	○
2	健全育成：生徒の豊かな心を育成する。	○	○	○	○	○
3	体力向上：活力ある生徒を育成する。	○	○	○	○	○

#### 5 平成30年度の重点目標

<b>重点的な取組事項－1</b>	学力向上：生徒の学力の定着を図る。	
<b>A 今年度の成果目標</b>	平成30年度区学力調査 目標通過率（学校平均）	
自ら主体的に学ぶ力の育成と基礎的基本的な学習内容の定着	目標通過率 65%	
<b>B 前年度の取組み内容</b>		
<b>項目</b>	<b>具体的な方策</b>	
基礎学力の定着	数学習熟度別指導、定期的確認テストや学習コンテストの実施及び放課後の個別補充指導の徹底、学びあい時間の設定、学習習慣の確立など	
個に応じた指導の充実	数学習熟度別指導における指導の徹底、定期考査前後の指名補充学習教室7日、夏季補充教室やサマースクール等の実施など	
指導法の改善・充実	小中連携による授業研究の充実、教科指導専門員を生かした授業改善、教科指導法改善に係る研修4回と効果的なOJTの改善・充実など	
<b>C 前年度の成果と課題</b>		
<p>区学力調査における平均通過率は64.9%であり、目標をおおむね達成することができた。平均正答率は、区や全国の平均値を上回ったが、定着率が低い生徒や低い教科があり、結果の分析と授業改善等の具体的方策の策定と実施が課題である。また、生徒の自己評価から、学校での学習に努力できている生徒は87.1%であるが、家庭学習を1時間以上行っている生徒が62.7%であり、学年によって異なることから、保護者との連携による学習習慣の確立が課題である。</p> <p>さらに、主体的・対話的で深い学び「いわゆるアクティブ・ラーニング」の授業改善、OJTの工夫・改善による教員の授業力向上、習熟度別授業をはじめとする個に応じたきめ細かな指導、定期的な教科コンテストの実施、土曜スクールや夏季補充授業等による基礎的・基本的内容の徹底、放課後に行うESL等の補習、各種検定取得の推進などに加え、朝学習の体制整備や教え合い活動の推進、学習カウンセリングなど、生徒の学習意欲を高め、生徒の主体的に学ぶ態度を育成していく。</p>		
<b>D 今年度の目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
基礎学力の定着	基礎学力達成率80%	※ 詳しくは、別紙「平成30年度学力向上アクションプラン」を参照
授業改善の充実	主体的・対話的で深い学びの授業	
学習カウンセリングの推進	個別相談・指導と三者相談の実施	
補充的学習の充実	基礎学力10ポイント向上	
主体的な学習機会の提供	コンテスト80%、各種検定60%	
学習習慣の確立	家庭学習1時間以上70%	

<b>重点的な取組事項－２</b>	健全育成：生徒の心身の健全育成を図る。	
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	
思いやりや自己肯定感の高まりなど人間的な豊かさの育成	生徒自己評価で自己肯定感 70%以上	
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
学習活動への意欲	生徒自己評価における学習への努力率 85%以上	到達度測定テスト等の実施による継続的な努力の評価と励ましの推進
小学校との交流活動や地域における社会貢献活動等の充実	生徒自己評価における人のためになる活動 85%以上	授業・部活動体験、小学校補充学習への学習支援、地域でのボランティア活動の推進
学校行事の主体的な運営参加	生徒自己評価における行事等への頑張り 90%以上	委員会、係活動の立場・役割の明確化と生徒の自主的な運営の推進

<b>重点的な取組事項－３</b>	体力向上：活力ある生徒を育成する。	
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	
小学校との連携による児童・生徒の体力向上及び意欲的・主体的な生徒の育成	生徒自己評価で学校生活の満足度や体力の高まり度 80%以上	
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
体力の向上と活力ある生活の推進	生徒自己評価における運動への関心や体力向上 80%以上	体力向上に関する研究の推進と、生活態度や学ぶ意欲など学校生活の質の向上
部活動への積極的参加	生徒学校生活充実度調査における参加率 90%以上	部活動の教育的な意義の明示や賞賛等による全生徒による部活動の推進
小中一貫教育の視点にたった教育活動の推進	学習体系化、小中合同研究の充実 教員自己評価 80%以上	学び方、国際理解教育及び体力向上の視点での研究、検証、まとめ、発表の実施